

# 柁 城 の い わ れ

ぼうばくたる天地創生の神代の昔、いざなみ、いざなぎの二神は、天のうき橋にたつて蛭子を  
生み、そして、大八洲とやおろずの神々を生み給うた。蛭子は、足が立たず、天のいわくす船に  
乗せられて下界に流されたが、その船のかじ(柁)は、流れ流れて、とある村里にたどり着き、う  
っそうたる巨木におい茂った。この村里こそ柁木、すなわち、加治木町である。

島津義弘は、柁城の敷地に一大屋形を築き、「柁城」と呼んだ。これを「かじき」とも読む。屋  
形は、慶長8年(1603年)から造営が始まり、落成は慶長12年(1607年)であった。天明4年  
(1784年)、島津久徴によって始められた郷校「毓英館」が、明治9年「柁城小学校」と改称さ  
れた。柁城にめぐらされた石垣の中に神代のロマンと、剛健な薩摩健児教育の歴史をしのぶこ  
とができる。

その後、柁城の「柁」を柁木の葉で包んだ校章が制定された。昭和20年8月、大空襲によっ  
て校舎は全焼したが、柁城の子らが、心身ともにすこやかに成長し、世界の子らと手をつなぎ、  
世界平和に貢献することを祈って、昭和28年に椋鳩十先生の作詞による柁城小学校の新校歌  
が誕生したのである。

そして昭和36年には鉄筋本館が、平成元年には新館が竣工した。保健優良校、学校図書優  
良校、創意工夫による科学技術長官賞(3回)、給食優良校として文部大臣賞、交通安全教育  
優良校、ソニー理科教育優良校、器楽合奏優良校、南日本学童硬筆展優秀校、県総合書道展  
学校賞、南九州硬筆展学校賞、県図画作品展優秀賞、南日本作文コンクール優秀賞、サンライ  
フ南日本花壇コンクール優秀賞、全国読書感想文コンクール椋鳩十文学記念館賞学校賞、全  
日本学校歯科保健優良校、県学校体育表彰優良学校賞、日本教育公務員弘済会奨励賞な  
ど、数々の受賞のもとに開校以来151年のあゆみを続けている。